



80年越しの友情に乾杯! 90歳の同窓会

4月28日、蔵原の飲食店で、碧水校尋常科昭和5年卒・高等科昭和7年卒の同窓会がありました。参加したのは大正6、7年生まれの同級生10人。発起人の竹原幸範さんが「65歳からの第2の人生こそ楽しく励まし合おう」と企画し以後25回開催しています。90歳となった今回も「今年も元気で会えたな」と日々の暮らしや「来年は皆で阿蘇神社に参拝に行こう」など会話を弾ませ友情を分かち合いました。

竹原さんによると当時の同級生は119人。女子は着物がほとんどで、学校付近は踊山神社の豊富な湧水が流れ、阿蘇駅前では旅館の湧水で登山を終えた客が顔や足を洗う光景が見られたそうです。

阿蘇市のコーラスも出演してオペラ上演

5月19日、阿蘇高原ホテルで、編作オペラ「夕顔昇天」(光源氏の物語)が行われ、観客は美しい歌声とピアノに酔いしれました。このオペラには、阿蘇きすげコーラスの皆さんも出演し、美しい衣装をまとい、すばらしい歌声でオペラを盛り上げました。

阿蘇高原ホテルでは、このような音楽コンサートを「土曜コンサート」と名づけ、月に一度開催しています。入場料は無料で、市民の皆さんに音楽にふれるひとときをプレゼントされています。詳しくは、24 - 5001までお問い合わせください。



こやすがわらかんのん

年間約6千人が参拝する子安河原観音で祭り

5月8日、子安河原観音祭が乙姫区主催のもと開催され、関係者約30人が参加し神事等が行われました。

祭りに併せ、乙姫小学校と乙姫保育園の遠足も行われ、子どもたちは観音前の芝広場で楽しい一日を過ごしました。

子安河原観音は上向きに寝た女体の形をした自然石で、子安川(乙姫川の上流)に鎮座し、その姿は観音様の姿と言われています。また、子どもの欲しい人は川石を持って帰り、股に挟むと子宝を授かると言い伝えられ、「子授かり安産」の守り神として毎年多くの参拝客が訪れています。

阿蘇市文化協会総会が開催されました

4月24日、農村環境改善センターで平成19年度阿蘇市文化協会総会が開催され、会員約100名が出席しました。

総会前にタレントの大田黒浩一さんによる「笑顔が一番」と題した講演が行われ、熊本弁に関する様々な話題に会場は終始笑いに包まれました。

総会では役員改選等が行われ、会長に後藤新一さん(横堀)副会長に小嶋維男さん(内牧2区)、榎木野トミ子さん(仁田水)および山部謙一郎さん(東3区)が選出されました。

文化協会は会員数約1,200人で、阿蘇市文化祭を主催し・発表するなど様々な文化活動を行っています。

